

金沢星稜大学

おおくぼ ひであき

大久保 英哲

金沢星稜大学 学長



篠崎尚夫前学長の任期満了に伴い、2022年4月1日付で、大久保英哲学長が就任した。大久保学長は2020年度に併設の金沢星稜大学女子短期大学部の学長に就任しており、双方の学長を務めることとなる。

1950年青森県生まれ。

1982年筑波大学大学院修士課程体育研究科体育方法学修了。1997年博士(学術)。

盛岡大学講師を経て、金沢大学助教授、教授。2015年同大学名誉教授、金沢星稜大学特任教授、2020年金沢星稜大学女子短期大学部学長に就任し2022年より現職。

専門は体育・スポーツ史。「地

方からの日本体育史」をライフワークとする。「近代日本体育史における林正十郎『木馬之書』(推定1867年)の意義」で日本体育学会賞(最優秀論文)。体育史学会会長歴任。『明治期比較地方体育史研究』『纏足から天然足へ…日本統治前期台湾の学校女子体育』『箱根駅伝を超えようとした幻の「能登駅伝」』ほか著書・論文多数。

スキー・スケート、テニスなどスポーツを趣味とするが、近年は伊能忠敬にあやかり「散歩学」にいそしむ。その折考えたことなどを大学Webサイトの「学長コラム」「学長室の窓から」で公開している。